



2021年1月25日

各 位

会 社 名 キヤノン電子株式会社
代表者名 代表取締役社長 酒巻 久
(コード：7739、東証第1部)
問合せ先 専務取締役 石塚 巧
(TEL. 03-6910-4111)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年10月23日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 75,300	百万円 4,300	百万円 4,500	百万円 3,550	円 銭 86.92
今回修正予想 (B)	74,600	5,600	5,800	4,400	107.72
増 減 額 (B-A)	△700	1,300	1,300	850	
増 減 率 (%)	△0.9	30.2	28.9	23.9	
(参考)前期実績 (2019年12月期)	89,158	8,081	8,073	6,116	149.82

2. 修正理由

2020年12月期通期の連結業績予想につきまして、新型コロナウイルスの感染拡大により縮小した2020年の当社関連市場において、その後、コロナ禍でも競争力の強い製品が貢献し、医療分野における歯科用ミリングマシンの販売増加、事務機用ユニットや基板実装におけるEMS事業による受託の増加など、新たな事業製品により収益の改善を図りました。このように、当社の特長である小回りの利く規模、技術を生かし、数多くのスモールビジネス事業の確立を目指すとともに、若手の経営感覚を磨くための早期育成を図っています。

また、フルサイズミラーレスの新製品が牽引するカメラ関連ユニットの販売増加や、ドキュメントスキャナーにおける米国市場でのEコマースチャネルによる拡販及び高級機タイプの販売チャネルの拡大とともに、生産性向上活動や一層のコストダウンを図り、利益面で計画を上回って推移したことから、業績予想を再び修正することといたしました。

以 上